国語科　中学校第一学年　②　【活用問題】　解答例

目的に応じた効果的な文章を書く〈弁当の日のパンフレット作成〉	組　番	氏名

夏美さんは、学級の給食委員長として、本年度の委員会の重点目標の「弁当の日」の充実について、他の委員と話し合い、「パンフレット」を作成して、啓発活動を進めようと考えました。その際、一学期に学習した「食育」の授業の資料にヒントを得ようと、その資料を読み直してみました。次は夏美さんが読み直した**資料Ａ、Ｂ**です。

資料Ａ

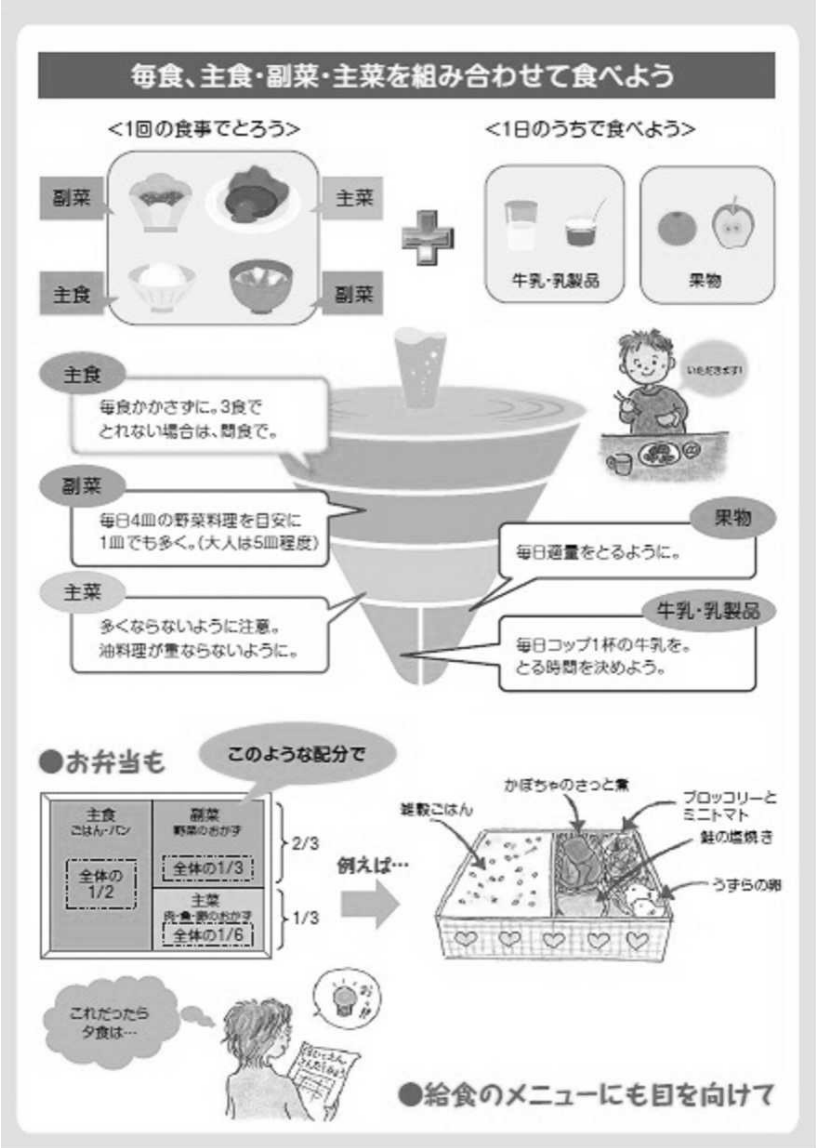
～「いただきます」からはじめよう宣言～

私たち宮崎県民は、食の宝庫みやざきにふさわしい豊かで健康的な食生活を実現するため、家庭・学校・地域・職場など、いつでも、どこでも、「いのちの恵み」に感謝する言葉「いただきます」を心を込めて発し、「食」と「農」の身近な関係づくりを進めることをここに宣言します。

1　私たちは、食事の時にはいつでも、「いただきます」の言葉に乗せていのちの恵みへの感謝の気持ちを伝えます。
2　私たちは、<u>○産○消</u>や「食」と「農」の学習を通して、健康で安心できる食生活の実現をめざします。
3　私たちは、消費者と生産者の交流を通して、お互いの信頼関係をしっかりと築きます。

※「平成17年11月13日　みやざきの食と農を考える県民会議みやざきブランド推進本部」より作成

資料Ｂ



※「みやざき県版　親と子の食事バランスガイド」より抜粋

（一）　**資料Ａ**の「〇産〇消」とは、「その土地でとれたものをその土地で消費する。」という意味です。〇に共通して入る適切な漢字一字を書きなさい。

地

（二）　夏美さんは**図１**のような**パンフレット案**を考えました。**パンフレット案**の（**本文**）を作成する際に、あなたならば、**資料Ａ**、**資料Ｂ**のどちらを中心に使いますか。どちらの資料を選んだのかを明らかにした上で、その理由を書きなさい。ただし、次の条件に従うこと。

図１「パンフレット案」

（　ア　）

文）

施の目的や啓発
など

１年１組
給食委員会作成

〈解答のポイント〉
○　条件はすべて必要です。
○　資料Ａか資料Ｂのどちらかを選んで答えましょう。
○　選んだ資料に書いてある言葉を書く際に、そのまま引用しても構いません。
○　解答はあくまでも例です。条件に沿った解答であれば正解です。

〈解答例〉
（例）私は、資料Ａを選びます。その理由は、「いのちの恵みへの感謝」という言葉に深く共感したからです。私自身もそうですが、食べ物を残したり、粗末に扱ったりすることがあります。食べ物への感謝ということを中心に伝えたいので、私は資料Ａを選びます。

（例）私は、資料Ｂを選びます。その理由は、私自身の食生活を振り返ってみて、栄養のバランスの偏りがあると感じたからです。特に「副菜」の摂取が、不足していることが分かりました。身体の健康を図ることを中心に伝えたいので、私は、資料Ｂを選びます。

（三）　「パンフレ
書いたことを
きなさい。た

〈解答のポイント〉
○　「見出し」なので、読み手を引きつけるものにしましょう。
○　「本文」の内容に合った見出しにしましょう。
○　解答はあくまでも例です。設問条件に沿った解答であれば正解です。

〈解答例〉　資料Ａ　→　弁当に感謝の思いを詰め込もう
資料Ｂ　→　弁当で安心バランスチェック